

3

成長への政策

201.9億円

未来への投資と地方分散の受け皿づくり

選ばれるまちへ、企業誘致と移住・定住を促進

- 大積スマートIC（仮称）の新設と周辺道路を整備（写真8）…………… 1億5,300万円
- サテライトオフィス誘致を促進 →P16…………… 9,416万円
- 地元就職やU・Iターン就職を支援… 1,325万円
- 首都圏や若者に向けた情報発信…………… 856万円

イノベーションの推進による地域産業の活性化

- 長岡版スマートアグリを推進（写真9）… 357万円
農作物の品質向上を目指し、ICT（情報通信技術）を活用した研究を支援します。
- 新技術・設備の導入で産業イノベーションを推進…………… 1億5,930万円

「新しい米百俵」による人材育成と教育環境の整備

- 教育のICT化を推進 →P12（写真10）…………… 2億3,434万円
- 遠距離通学や総合支援学校の児童・生徒の通学を支援…………… 2億6,951万円
- 大手通坂之上町地区市街地再開発事業 人づくり・学び・交流エリア（仮称）を整備 →裏表紙 …… 5億1,178万円

魅力発信と関係・交流人口の段階的拡大

- 道の駅ながおか花火館を核とした周遊促進… 650万円
- 長岡米、酒、錦鯉、映画「峠 最後のサムライ」などの長岡の魅力を全国・世界へ発信…………… 5,132万円

カーボンニュートラルに向けた取り組み

- 循環型社会の実現に向けた研究を推進… 1,401万円
- グリーン成長戦略のための設備導入や技術開発を支援… 1,500万円



▲昨年10月に事業化が正式決定した大積スマートIC（仮称）。整備により、市内西部地区の企業活動の活性化や観光振興、防災力の向上などが期待されます



▲水田に設置したセンサーとスマートフォンの連携で作業効率を高める「長岡版スマートアグリ」の一例。水位の把握や自動での給水が可能になります



▲タブレット端末を活用し、掛け算の法則性などをグループで学習する日吉小学校3年生

市の組織が変わりました 地方分散の受け皿へ 体制を強化

圏行政管理課
☎39・2208

長岡の魅力発信と移住・定住の促進

新型コロナウイルス禍での地方分散の流れを捉え、その受け皿づくりに積極的に取り組むため、地方創生推進部にながおか魅力発信課と移住定住相談センターを設置します。首都圏や若者などへの情報発信と移住・定住の相談対応を一体的に進めます。

行政のデジタル化を推進

イノベーション推進課と情報システム管理課を統合。総務部にデジタル行政推進課を新設します。新たな発想や先端技術で時代のニーズに合った価値を創造する「長岡版イノベーション」に取り組みつつ、行政のデジタル化で市民の利便性をさらに高めます。

人口減少や災害に対応したまちづくりへ

人口減少や災害の頻発化などに対応したまちづくりに向け、都市整備部を再編します。都市計画などを担う都市政策課に加え、交通政策に取り組み交通政策室を同課に設けます。また、都市インフラの整備・維持管理を行う都市施設整備課を設置します。

鳥獣被害対策を強化

年々増加する鳥獣被害を受け、農水産政策課の鳥獣被害対策室の機能を拡充。鳥獣被害対策課に改めます。防除などの対策を強化するとともに、人身被害への対応などをより迅速に行います。

ご紹介します

4月1日付で、副市長に大滝靖・前地域政策監が就任しました。



▲大滝副市長

長岡まつり大花火大会 感染対策の徹底へ 検討進む

圏長岡花火財団
☎39・0823



国が示すイベント開催の指針に基づき、新型コロナウイルスの感染対策を徹底した花火大会の開催に向け、準備を進めています。市外からの観覧者の受け入れや、チケット販売後に感染が拡大した場合の対応、会場内で密集を発生させない運営方法や飲食の制限などを検討しています。感染状況を見極め、開催方法は常に見直しを行います。今年こそ、長岡花火を打ち上げるために。市民のみならずのご理解とご協力をお願いします。

4 持続可能な行財政運営プランの推進

人口減少などが一層進行する中、健全な市政運営を続けられるように10年先の社会経済の情勢や環境変化を見据え、行財政運営の再構築に取り組みます。市民ニーズの変化に対応するため、イノベー

ションによる新しい価値の創造や事務の効率化などを推進。多様な財源の確保や行政サービスの向上、公共施設の適正化などを図ります。

※行財政運営プランの詳細は、市政だより5月号でお知らせします